



広報 KOGA NO.65

関東ド・マンナカ宣言都市 古河

こが 古河

目次

- 2 日野自動車用地取得
- 4 地域コミュニティ
- 6 住宅公社清算
- 8 子ども会活動
- 10 運動で介護予防
- 12 MOMOCAカード

2011

2

FEBRUARY

日野自動車が古河市名崎の 産業用地を正式に取得しました



財団法人茨城県開発公社が、昨年12月22日、茨城県を立会人として、日野自動車株式会社との間に、古河市名崎の産業用地約66ヘクタールを同社に約60億円で譲渡する契約が締結されました。

今後、財団法人茨城県開発公社では、日野自動車株式会社の計画に沿って造成工事を行い引き渡していく予定とのことです。また、新工場の建設時期、生産品目、規模等については、決定次第、同社から発表されることになっています。

市では茨城県では初となる本格的な自動車メーカーの工場進出に、地区計画の策定やアクセス道路の整備などを進めるとともに1日も早い工事着工を期待しています。

【問】 総和庁舎(本庁) 政策推進課 ☎92-3111

■アクセス道路整備が急ピッチで進んでいます



【日野自動車株式会社の発表】

架装メーカー、主な部品メーカーが関東圏に多いこと、部品調達において交通アクセスが良いこと、人員が確保しやすいこと等、工場建設予定地として総合的な判断から条件に合致しました。

【橋本知事のコメント】

本県の経済活性化につながる大きな一歩。本県初の自動車メーカーとして、1日も早く新工場ができるよう県としても最大限の努力をしたい。

【日野自動車株式会社とは】

本社所在地	東京都日野市日野台3丁目1番地1	従業員数	単独：1万867人 (2010年3月31日現在)
創業	1910年(明治43年)8月1日	製品	トラック・バス、小型商業車・乗用車(トヨタ自動車(株)よりの受託車)、各種エンジン、補給部品等
設立	1942年(昭和17年)5月1日		
資本金	727億1700万円 (2010年3月31日現在)		

日野自動車株式会社ホームページより

地域コミュニティ活動が活発に行われています



第12地区の防犯パトロール隊と駒羽根小学校児童との対面式の様子
※第13地区でも同様に防犯活動に取り組んでいます

市ではグレードアップ予算を活用し、コミュニティの育成・強化を図るため、昨年度より事業費を1040万円拡大するとともに、幅広い活動に対応できるよう「古河市コミュニティ活動助成金交付要綱」を制定し、コミュニティ形成や地域活動を支援しています。

【問】総和庁舎(本庁)
自治振興課 ☎92-3111

■コミュニティとは

近隣の住民が共通の習慣や理念を持ち、イベントやさまざまな事業を通じて住民同士の相互交流が図られている地域社会、地域共同体のことです。

■コミュニティの必要性

私たちの日常生活では個人や職場では解決することが難しい問題が発生することがあります。

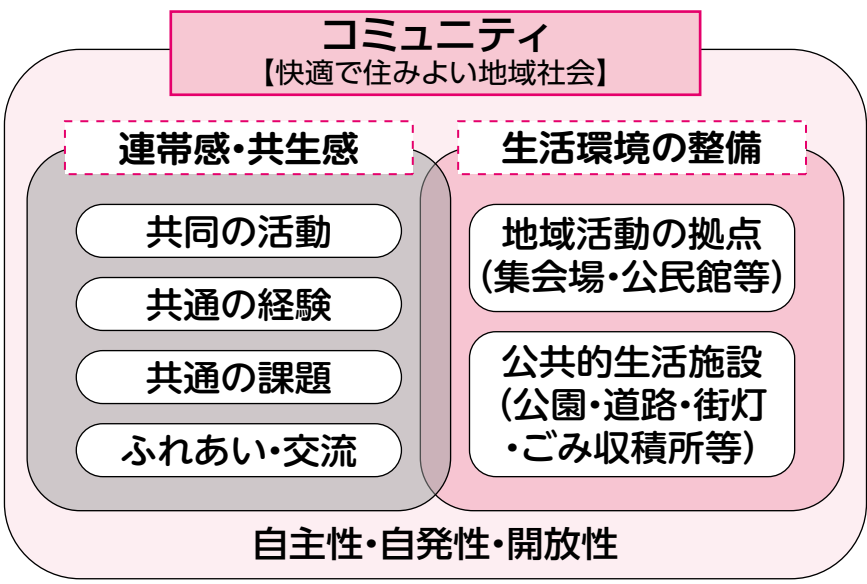
す。これらの問題の中には、地域の特性である歴史や地形などに起因しているものがあります。そして、その問題の解決には、地域の特性を十分に知った人々が必要です。これらの人々が問題を解決していくための組織としてコミュニティが必要です。

あわせて、市民の意思を行政に伝えるなど、市民主体のまちづくりにおける主人公としても、その必要性が年々重要になってきています。

■取り組み状況

地区長が主催している「地区事業活性化のための座談会」(地域コミュニティの活性化にむけて、地域の現状や課題、その自主的な解決方法を検討しています。)へ市の執行部が参加し、意見交換を行いました。

地域コミュニティ活動には、祭りやレクリエーション活動などの地域の親睦づくりを目的とした活動と、防犯・防災活動や環境美化活動、福祉活動などの社会的課題の解決を目的とした活動があります。どちらも、地域にとって大切な活動です。



▲古河市住民自治組織設置規則に定める「第9地区」での座談会(八幡町公民館)

■活動の紹介

●古河地区(第1～7地区)

☆(第3地区)【第三小学校区】



自治会で実施していた夏祭りを、地区の規模に拡大し2日間盛大に行われました。

☆(第5地区)【第五小学校区】



コミュニティセンターを管理する運営委員会が中心となって祭りを開催しました。

☆(第7地区)【第七小学校区】



地区と地元子ども会やPTAが一体となって夏祭りを実施。当日は参加者550人を超える人でにぎわいました。

●総和地区(第8～14地区)

☆(第8地区)



地区の周知と地域の魅力の再発見とあわせて健康増進を図ろうとウォークラリーを開催しました。

●三和地区(第15～20地区)

三和地区においては、平成5年度以降コミュニティ団体が発足し、現在設立より10年以上に至り円熟期を迎えています。地域の特色をいかし、さまざまな活動を行っています。

☆第15地区 諸川コミュニティ竹とんぼ

☆第16地区 駒込学区手のひらの会

☆第17地区 大和田学区ふれあいの会

☆第18地区 じゅうにひとえの会

☆第19地区 八俣ふきの芽会

☆第20地区 名崎名の崎会



諸川コミュニティ竹とんぼ
諸川まつり



駒込学区手のひらの会
手のひら祭り



大和田学区ふれあいの会
防災訓練



じゅうにひとえの会
夢追い祭り



八俣ふきの芽会
素人演芸



名崎名の崎会
ファミリースポーツ大会

◆多くの参加者に感動しました

ウォークラリーは第1回目にもかかわらず、取り組みの期間も短かったので、いろいろと不安もありました。当日は、天候にも恵まれ、450人もの参加があり、特に、近隣の企業の協賛も力強く、来年は800人へと役員らの意欲的な意見もでました。継続することで地域コミュニティの活性化になると思っています。多くの方のご協力ありがとうございました。



第8地区長
安藤 和子さん

古河市住宅公社は解散しました

市民の皆さまへ

古河市では、現在、行財政健全化に向けてさまざまな取り組みを進めております。

特に、財団法人古河市住宅公社の債務超過の問題は、市の行財政健全化には欠かせない最重要課題でありました。その中で、平成18年度の当時、明らかになった住宅公社が抱える約50億円にものぼる債務超過の処理については、平成19年2月に策定した経営改善対策に基づいて、市からは補助金や貸付金などの財政支援を行い、その解消に向けて全力で取り組んでまいりました。

この度、国の公益法人の制度改革に伴い、現在の住宅公社改革に迅速かつ集中的に取り組む必要が生じたため、市議会のご理解を得た上で、破産法に基づく第三セクター等改革推進債を活用した新たな債務処理の転換を図っていくことになりました。そのため、昭和40年の設立以来、45年にわたり市民の皆さまのご厚情をいただいております住宅公社が、平成22年12月14日をもって解散いたしました。

今回、住宅公社が解散して、債務処理の方法が大きく変わることになりますが、市では、この住宅公社の問題を大きな教訓として、今後とも市政発展にまい進してまいりますので、市民の皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

平成23年2月

古河市長 白 戸 伸 久

住宅公社の新たな債務処理の転換について(概要)

■古河市住宅公社とは

- ◇昭和40年に古河市が設立した公益法人です。
- ◇住宅の造成販売が主な事業で、安い価格で住宅を計画的に供給し、住宅不足の緩和に努めることで、古河市の住宅政策の一端を担ってきました。
- ◇歴代市長が理事長、副市長が副理事長を務め、理事などの役員の一部を市職員が務めていて、住宅公社と古河市は一体の関係にあります。

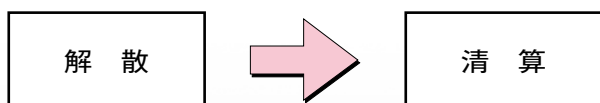
■借入金の状況は

- ◇平成19年の経営改善対策により、平成19年度から15年間をかけて、市から毎年、債務超過額の15分の1相当額(3億2900万円)の補助や貸付の財政支援、住宅公社の保有資産の売却などにより、毎年の債務超過は縮減されています。具体的には、平成21年度末借入残高は49億900万円であり、平成18年度末借入残高の64億4800万円から比較すると、15億3900万円の縮減がなされました。

■新たな改革の必要性

【公益法人制度改革の施行：(平成20年12月1日施行)】

- ◇公益法人制度改革前に設立した公益法人は、平成25年11月30日までに存廃を含め、公益財団法人または一般財団法人のいずれかに移行しなければなりません。しかし、現実的に債務超過が膨大である古河市住宅公社は、新たな法人として存続できないことになり、解散して清算しなくてはなりません。

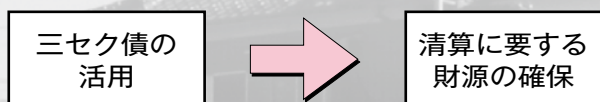


■清算の方法は

【第三セクター等改革推進債(国によるローン制度)の創設とその活用】

対象年度：平成21年度～25年度

- ◇国の制度改革により、第三セクター等の債務処理の整理を円滑に実施できるようにするため、第三セクター等改革推進債(三セク債)が創設されました。これは、古河市から住宅公社への損失補償に要する経費等が対象となり、古河市が肩代わりして住宅公社の清算が可能となるものです。また、この制度を活用して清算する場合は、破産法による破産手続きが必要となります。



- ◇第三セクター等改革推進債を活用した場合の市の負担見込み額

・ 損失補償等に要する経費	49億 700万円
・ 第三セクター等改革推進債支払利息	6億8500万円
・ 破産管財人からの資産取得費	未定

※1)平成22年度借入れの場合で試算

2)15年償還の固定金利1.8%(据え置きなし)の試算

■住宅公社の借入金を古河市が返済する理由は

- ◇住宅公社の借入金に対して、古河市が肩代わりする損失補償の契約を、市と金融機関が取り交わしているからです。

■破産法を適用する理由は

- ◇債務超過が膨大であることならびに法的に清算することによって、手続き、内容等についての公平性・透明性を確保する必要があるためです。
◇第三セクター等改革推進債の許可要件として、法的整理が求められているためです。

■今後の住宅公社の運営は

- ◇平成22年12月14日に水戸地方裁判所下妻支部において破産手続開始決定がなされ、裁判所より選任された破産管財人のもと、おおむね1年間をかけて保有資産の売却等を行っていく予定です。また、住宅公社は、清算法人として清算終了まで存続することになります。

【問】 総和庁舎(本庁)
財政課住宅公社担当 ☎92-3111

住宅公社所有の駐車場

新しい出会いに感動する「子ども会」



「子ども会」は、同じ町内や地域に住んでいる異なる年齢の子どもたちの集まりです。異年齢の子どもたちが触れ合いながら、さまざまな活動をしていく中で、家庭や学校では得られない貴重な経験や知識を学んでいます。子ども会に入ってみることで楽しい思い出を作りましょう！

【問】古河庁舎 生涯学習課
☎22-5111

■子ども会活動の魅力

子ども会という集団の中で活動をする子どもたちは、楽しく遊びながらも、社会の一員として必要な知識や態度などを自然に身に付けていきます。年長者は、小さな子どもたちの面倒を見たりまとめたりすることで、思いやりの心やリーダーシップを養いはぐくんでいきます。

また、年少者は、集団での活動のルールを守ることや我慢をすることの大切さを身に付けながら、自分たちをまとめてくれている年長者を見て育っていきます。身近に、近い将来の自分と重ねることができるお手本がいるわけです。

近年、少子化の影響を受け、子どもたちは、兄弟姉妹が少なくなった上に、異年齢の子どもたちと遊ぶ機会も少なくなっています。異年齢との集団活動で得た自主性や社会性は、将来

きっと役に立ちます。その機会づくりの場を提供しているのが地域の「子ども会」なのです。

■子ども会育成連合会

少子化の影響で子ども会活動に参加する子どもが減ってきているだけでなく、子ども会への加入率も減少しています。それに伴い、地域の子どもの会数もここ数年減少傾向にあります。そこで「古河市子ども会育成連合会」では、学区・単位子ども会への援助や連携を図りながら、力を合わせて魅力あるイベントを企画しています。また、子ども会の活動をより活性化し充実するため保護者や地域の指導者・育成者を対象とした研修も行っており、大人がみんなで子どもを見守る地域づくりに努めています。

子ども会活動が下降線をたど

り、地域の教育力の低下が心配される近年、子どもも親も、子ども会活動に参加した結果として、新しい出会いに感動する気持ちを広げることで、地域に根ざした子ども会活動の復活を目指したいです。

各地区会間での事業交流も盛んに行われており、地区や学区を越えて市内のたくさんの学校の友達と、楽しく活動しています。

【子ども会活動に参加しました】

寒い時期の提灯竿もみまつり
2000年生まれの僕が2050年になっても今と変わらず心も体もポカポカ暖かくなる古河の伝統のおまつりでありますように大いに期待しています。



古河二小 4年 藤澤翔平くん

2010年の主な活動内容を紹介します

【古河地区会】

■幹部研修会(宿泊体験)

県立さしま少年自然の家

6月27日～28日

古河地区の小学5、6年生約100人の児童が参加しました。子どもたちは班に分かれて係を決め、自分の係に責任を持って活動していました。また、毎年恒例の暗闇探検では、驚きや恐怖の声が聞こえる中、笑い声も聞こえていました。



■古河提灯竿もみまつり

古河駅西口特設会場

12月4日

関東の奇祭「提灯竿もみまつり」に今年も参加しました。本番では、9月から一緒に準備をしてきて深めたきずなを武器に、力を合わせてもんでいました。参加した子どもたちは、伝統文化の体験を通して、郷土愛や協調性をはぐくみ、達成感でいっぱい表情をしていました。



【総和地区会】

■チャレンジランキング大会

とねミドリ館

5月23日

幼児・児童合わせ150人を超える多くの参加者でにぎわいました。さまざまな種目(1分間ジャンケン・あき缶つま等)に参加した子どもたちは、新記録を出そうと燃えていました。表彰式では、チャンピオンに賞状が贈られました。



■関東ド・マンナカまつり

中央運動公園

10月9日～11日

今回のド・マンナカ祭りは、合併5周年ということで、3日間に渡り盛大に開催され、会場内に設けられた子ども会のブースも大勢の人でにぎわいました。子ども会で、チャレンジランキング大会を開催し、延べ3,280人の子どもたちが、元気に参加しました。



【三和地区会】

■施設訪問

秋明館・みどりの里

7月29日

児童31人が秋明館、みどりの里の2施設に分かれて訪問し、入所者と交流を図りました。今年は各施設の全体を見せてもらい、たくさんのお年寄りの皆さんと、触れ合うことができました。



■さんさんまつり

三和健康ふれあいスポーツセンター

10月23日

昨年は新型インフルエンザで出展を見送りましたが、今年は初めて会場の屋内を利用して開催しました。「屋内なのであまり来てくれないのでは？」と心配していましたが、たくさん子どもたちがゲームやビンゴ大会に参加してくれて、大にぎわいになりました。



コツコツ楽しみながら 運動習慣を身に付けましょう

人の動きは「立つ・歩く・座る」の繰り返しです。その動きを支えているのが、足腰の筋力です。運動は高齢になって始めても効果が期待できます。運動することで、日常の活動に必要な筋力をつけ、全身の筋力アップを図りましょう！

【問】総和福祉センター「健康の駅」内 高齢福祉課
☎92-5838

高齢だからこそ運動で介護予防！



■運動器の機能低下に注意しましょう

65歳以上の高齢者が要介護状態になる原因のうち「高齢による衰弱」、「転倒・骨折」、「関節疾患」など、運動器(筋肉や骨、関節などからだをささえ動かす器官のこと)の機能低下に関係するものが全体の3分の1を占めています。からだを動かさないでいると、筋肉が衰え、骨が弱くなり、バランス感覚が衰えて転びやすくなるなどの問題が出てきます。

■運動器の機能を向上させるには

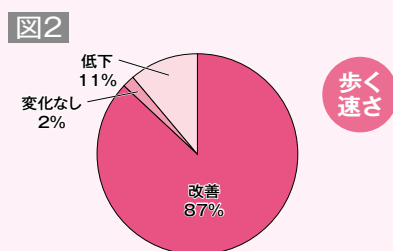
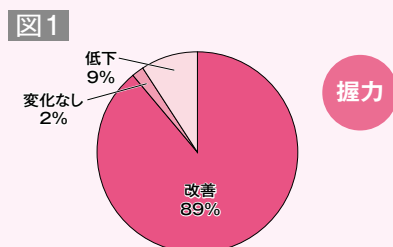
運動器の機能は高齢になっても向上させることができます。高齢期に足腰が衰えるのは、使わないことでからだがなまってしまうことが原因です。

市で行っている高齢者対象の運動教室には65歳から89歳の人

が参加され、定期的に運動することで、約9割の人が、握力や歩く速さなどの体力測定結果が改善しました。[図1.2参照]

自分は年だから……と思わずに、積極的にからだを動かすようにしましょう。

平成21年度いきいき運動教室の結果



■「有酸素運動」と「筋力運動」の組み合わせが効果的

○有酸素運動は、十分な呼吸をしながら行う運動です。心臓や肺の機能を強くする、脳の活性化による認知症予防、ストレス解消などに効果があります(例：ウォーキング・高齢者向けの体操など)。

○筋力運動は、筋肉に一定の負荷をかける運動です。筋肉を意識して動かすことで、筋肉の力をつけ、骨を丈夫にし、バランス力の向上などに効果があります(例：いっぽう体操・筋力トレーニングなど)。

※いつまでもいきいきと元気に生活するために、ウォーキングを日課にしたり、自宅でできる筋力トレーニングに取り組んでみましょう。

■運動を続けるためのポイント

＜運動するときの注意点＞

○運動をするときには、いきなり始めるのはけがのもとです。ストレッチ(柔軟体操)でからだをほぐしてから始めましょう。

○初めは少しずつ、慣れてきた

ら回数や時間を増やすなど、無理をしないようにしましょう。

○汗をかかないようでも、水分補給を心掛けましょう。

※かかりつけの医師がいる人は、自分にあった運動はどんなものがよいのか、相談することをおすすめします！



ご存じですか？シルバーリハビリ体操

◆シルバーリハビリ体操とは

茨城県で推奨している体操であり、関節の動く範囲を広げたり、力をつけることで、最後まで自分らしく過ごせるようにする介護予防のための体操で、「いつでも、どこでも、ひとりでも」できるやさしい体操です。

◆古河市シルバーリハビリ体操指導士の会

シルバーリハビリ体操指導士は、介護予防等について講習会で学び、県知事の認定を受け、ボランティアで体操の普及活動を行っています。

現在、市のシルバーリハビリ体操指導士の会には、約90人の体操指導士がいます。市内の各地域で体操教室を開催していて、市も体操指導士の会の活動を支援しています。

《市内の主な体操教室会場》

古河福祉の森会館、古河東公民館、古河西公民館、総和福祉センター「健康の駅」、ユースセンター総和、三和公民館、三和農村環境改善センター
(※その他の会場でも自主活動を行っています)



◆シルバーリハビリ体操参加者の声



深谷さたさん(上辺見)

●体を動かすのが楽しみ

体操に参加してから腰の調子がよくなりました。この企画は自分にとって本当によかった。大変ありがたいです。自分でも筋肉がついた感じがして効果があったことが実感できます。月1回第4金曜日に参加して、体を動かすことを心掛けています。参加するのが、毎月楽しみです。

住民票・印鑑証明の コンビニ交付が始まります



3月1日から全国のセブンイレブンで取得できます

「MOMOCA」の多目的利用を推進し市民生活に役立つカードとして、さまざまな利用を模索し展開しています。

3月1日から、全国のコンビニ(セブンイレブンのみ)で住民票の写し、印鑑登録証明書を取得することができますようになります。

【問】総和庁舎(本庁)

市民課 ☎92-3111

■住基カード(MOMOCA)の取得方法

手続きには「即日交付」「後日交付」の二通りあります。

①申請(即日交付の場合)



申請書に必要事項を記入します

③パスワードの入力[職員の説明あり]



本人確認用のパスワードを入力します

②写真撮影



カード用の写真を撮影(持参していただいても結構です)

④交付



詳細を説明の後、MOMOCAを交付します

※後日交付の場合については窓口にお問い合わせください

■既に住基カードを取得している場合の手続き

既に取得している住基カードと身分証明証(運転免許証等)をご持参ください。多目的利用の申請が必要になります。

■休日窓口を開庁します

日時：2月6日(日)・19日(土)・20日(日)

午前8時30分～午後5時15分

総和庁舎市民課、古河・三和庁舎市民窓口室の窓口を開庁し、MOMOCAの申請・受付・交付をします。手続きに必要なものを確認の上、来庁してください。

※3月31日でMOMOCA無料交付期間が終了します。お早めに申請されるように、お勧めします。

和やかに新春を祝う

新年を祝う「新春のつどい」が1月7日、生涯学習センター総和「とねミドリ館」で開催されました。出席者は議員、各種機関・団体の役員など約550人。式典では、市長の年頭のあいさつの後、市政功労者4人の表彰を行いました。これは、市の政治・産業などに功績のあった人を表彰するものです。また、市の公益のために金品などを寄付された9人へ感謝状の贈呈を行いました。その後、「公声会」による木遣り、鏡開きへと続き、全員で乾杯。会場内では、賀詞交歓が和やかな中に繰り広げられました。

市政功労者 (順不同・敬称略)

○自治功労

赤岩 茂(諸川) 多年監査委員

木下由勇(大手町) 多年自治会長

野村久男(中央町三丁目) 多年消防団員

○産業功労

高橋武夫(中央町三丁目) 多年商工会議所役員



▲立食パーティー形式で開催しました



▲市政功労者の表彰



▲市長が来賓とともに鏡開きを行いました

大人としての新たな門出

1月9日、中央運動公園総合体育館で新成人の門出を祝う「古河市成人式典」が行われました。今年、古河市で成人を迎えたのは1,586人。華やかな振り袖やスーツ姿の新成人1,178人が出席して、盛大に執り行われました。

式典後は、新成人で構成された古河市成人式典実行委員会の企画立案により二十歳の主張や写真撮影会が実施されました。会場内外では、新成人たちが久しぶりに再会した友人と歓談したり、中学生時代の恩師もお祝いに駆け付けたりと、思い出話に花が咲いていました。今回の式典は、これから大人の仲間入りをする新成人たちにとって、素晴らしい門出になったことと思います。



▲「二十歳の主張」を発表



▲新たな誓いを胸に式典に臨む古河市の新成人たち



▲久しぶりの再会に話がはずみます

大臣表彰等

厚生労働大臣表彰



青木哲雄さん
(91歳、上辺見)
更生援護功労者

内閣府特命担当大臣表彰



古河市地域女性団体連絡会
写真はチャイルド・ユースサポート
章を受賞し市長を表敬訪問した連絡
会の関根会長、石崎・福島両副会長

全国老人クラブ連合会表彰



古河市老人クラブ連合会
写真は会長の山口篤二さん

全国大会で活躍

◆日本身体障害者水泳選手権大会

11月27日～28日に東京辰巳国際水泳場で行われた第27回日本身体障害者水泳選手権大会に染谷祥子さん(茨城Do swimming club)が出場。女子50mバタフライ、女子100mバタフライで見事、優勝を飾りました。



染谷祥子さん(東山田)

◆ソニー生命カップ第32回全国レディーステニス大会

11月17日～19日に東京都昭和の森テニスコートで行われた大会に斉藤昌美さん(サクセス)が茨城県代表として団体戦に出場し、ベスト8の成績を収めました。

素晴らしい作品が集まりました 「1ページの絵本」表彰式

児童文学史に大きな足跡を残した絵雑誌「コドモノクニ」「コドモノテンチ」の絵に付ける新たな詩や物語を創作する「1ページの絵本」。

「コドモノクニ」関係資料を活用した古河市ならではの企画は、一昨年の国民文化祭を機に始まり、3回目を迎えた今年は、全国から、小中学生の部

1,418点、一般の部134点の応募がありました。

厳正なる審査を経て各部門、大賞、準大賞、入選の各入賞者が決定し、12月5日に古河文学館で表彰式を行いました。

表彰式の詳細は、古河文学館のホームページで、ご覧になれます。



▲受賞者の皆さん、おめでとうございます

古河大使・仁志敏久さんの講演会

1月15日、古河市出身の元プロ野球選手で、古河大使である仁志敏久さんの講演会が古河市体育協会の主催で中央公民館ホールにて開催されました。「野球への想い」と題した講演会に集まった約500人を前に幼稚園から小・中・高校時代、大学・社会人時代、プロ野球時代、アメリカ独立リーグ時代まで、影響を受けた人の話を交え、“野球にかけてこられた熱い想い”を語ってくれました。

また、講演後は抽選会が行われ、直筆サイン入りの著書が10人にプレゼントされるなど、会場は最後まで盛り上がっていました。



▲野球のプレーヤーだけでなく指導者に対するアドバイスもありました



▲仁志さんにあこがれる地元の野球少年たちが多数参加しました

日々新たなり

古河市長 白戸伸久

～ 日野自動車の古河進出 ～

昨年12月22日、日野自動車と県開発公社との間で、古河市名崎の産業用地の正式な譲渡契約が締結されました。日野自動車の誘致に関わりを持った者として大変感慨深いものがありました。

話の発端は、新市が誕生した平成17年に遡ります。初代市長に就任して間もなく、三和地区の名崎送信所跡地を民間企業のオリックスが所有し、合併前に、オリックスから用地を町に賃貸あるいは売却したいとの打診があったと聞き、早速、現時点でのオリックスの意向を確認しました。

オリックスの考えに変化がないことを確認した私は、これは新市の発展にとって千載一遇のチャンスだと確信し、早速、行動を開始しました。

まず橋本知事に、市内に最適の工業用地があることを申し上げました。知事からは、古河を訪問した折、現地を確認、平地で造成費もかからないので、開発公社に検討させると前向きな返事をいただき、間もなく県開発公社とオリックスとの間で売買契約が成立しました。

その後、茨城県産業立地推進東京本部に日野自動車から

茨城県内への工業用地の打診があり、県内の候補地の中で名崎が好立地と気にいられたとの話が入りました。

日野自動車は、トヨタ自動車が大株主です。用地決定には、トヨタ自動車の了解が必要と判断した橋本知事は、私がトヨタの販売店を経営していることから、トヨタ自動車の首脳との面談を希望されました。そこで、兼ねてから親交のあった名誉会長の豊田章一郎氏に連絡を取り、会長に橋本知事、担当者、私の3人で日野の古河進出をお願いしました。

日野自動車については、各県から激しい誘致合戦があり、リーマンショック後の厳しい経済状況下でしたが、県開発公社と予約締結へ漕ぎ着け、今度は、円高という逆風の中でしたが、本契約の締結がされました。



▲周辺道路の整備も進んでいます

My Hobby

魅力がいっぱい「バスケットボール」

藤原賢一郎さん（仁連）

皆さんご存じのようにバスケットボールはアメリカのNBAに代表されるような派手なアクション、パフォーマンスが魅力のひとつですが、団体競技ですので、実際にプレーしながら、苦労分の喜びをみんなでわかちあえるということも大きな魅力です。そんなバスケットボールの魅力をみんなに伝えたいという藤原さんに今回は話を伺いました。

バスケットボールとの出会い

バスケットボールの出会いは小学生のころ、お父さんから手ほどきを受けましたが、本格的に指導を受けたのは中学生の部活動からだそうです。当時の部活動は、人気のあるサッカーや野球に集中していましたが、その隣りにあるバスケットコートで少ない人数ながら、練習に打ち込みました。そんな地道な努力が実り、チームは県大会で上位入賞。試合を重ねるごとに、チームワークの大切さを感じたそうです。その後社会人になった今もバスケットボールは続けていますが、当時の仲間との交流もずっと続いています。



▶ 体育館のコートはみんなの楽しそうな笑顔があふれていました



▲生涯スポーツとしてバスケットボールを楽しんでいきたいと話す藤原さん

小さいころから触れてもらいたい

バスケットボールを小学生のうちから体験してもらえようと、昨年からは一緒に汗を流してきた先輩とクラブ「Jump MBC」を作り、ドリブルやパスの指導を始めました。

最初は、団体としての登録、練習場所の確保、保険の手続きなど、事務的な手続きが大変でした。そんな中、つい最近初めてボールに触れた子が急に上手になったり、上手になりたいと基礎練習に打ち込む姿に感動。月2回の指導ですが、その日を楽しみにやってくる子どもたちに逆に励まされているそうです。

伝えたいこと

バスケットボールはシュートを狙って思ったとおり入ることが楽しいし、思うようにボールをコントロールできればもっと楽しい。子どもたちにはスポーツを通じて楽しいと思う瞬間を与えたいと願っているそうです。「小さいころは特に試合に勝つということよりもスポーツに親しみを持ってほしい。チームワークの大切さや、あきらめずに努力すればできるようになる。こんな体験をして欲しい。」と……。

藤原さんはその思いを胸に秘めながら、子どもたちと一緒に元気よくコートの中を飛び回っていました。

昨年12月10日から31日までの22日間、ネーブルパークにおいてイルミネーション「～コガ ルミナターレ～」が開催され、約8万人が来場しました。さて、今回はこの「～コガ ルミナターレ～」についてお伝えします。

「ルミナターレ」の意味について皆さまご存じでしょうか。これはイタリア語でクリスマスの意味の「ナターレ」に、イルミネーションの「ルミ」を付けた造語です。神戸で行われている「ルミナリエ」もイルミネーションのイタリア語です。イルミネーションイベントにはイタリア語が似合いますよね。

この「～コガ ルミナターレ～」のネーブルパーク開催は11月になってから決定したため、準備は急ピッチで行われていきました。まず公園入口大地の広場の藤棚から始まり、池の石垣などと徐々に進んでいき、最後に公園入口の巨大なゲートが取り付けられました。このゲートですが、高さ約12メー

トル幅約12メートルの大きさで、事前にイラストで見てはいましたが、私たちの想像をはるかに超えるものでした。

12月初旬の試験点灯。私たちが^{かたず}の固唾を呑んで点灯を見守りました。点灯した時は表現のしようもないくらい感動し、きっと来ていただいた皆さんにも喜んでいただけるものと確信しました。そして12月10日点灯式の日。イルミネーション点灯と同時に上がった歓声は、私たちが感じた感動を皆さまにも味わっていただけたものとさらに感動することとなりました。

また期間中「よかったよ」、「がんばって」などのお声を掛けていただきました

こと、あらためまして感謝します。ありがとうございました。これからも皆さまに喜ばれる公園を作っていきたく考えていますので、応援よろしくをお願いします。

【問】ネーブルパーク ☎92-7300



▲ネーブルパークを彩るイルミネーション

文化財の窓

写真で見る懐かしい風景～諸川商店街～

三和資料館では、古文書・古記録・考古資料・絵画・民俗資料といった代表的な資料に加えて、写真資料も所蔵しています。それらの大部分は旧三和町時代に撮影された広報写真で、三和地区における昔の様子(町並みや風景、建物、年中行事など)がよくわかります。資料の中でも、文字記録による歴史資料に比べて、写真資料はその歴史的事象を被写体として画像化するため、後世にわかりやすく伝えることが可能です。

今回はその写真資料の中から、諸川町の風景を紹介したいと思います。諸川町は江戸時代には「関宿通多功道(日光東街道)」の宿場町として栄え、明治以降も商店街として賑わいました。左の写真は街灯設置後の昭和38(1963)年ごろの諸川商店街(仲町～下町)を撮影したものです。右側手前よりお酒の銘柄の看板を掲げた酒店、自転車と薪の山がみえる肥料飼料店、2階建ての洋品店、旅館の看板とのれんを掛

け、店の前にメニューの立て看板を立てた旅館・食堂、煉瓦造りの常陽銀行幸島支店(旧幸島銀行社屋)の建物がみえます。銀行の前の道路(下妻道)よりトラックが左折して本通りに出てくるところです。道路の上に張られた横断幕には「車は左、人は右」の文字が書かれています。

いっぽう、右の写真は47年後の平成22(2010)年

10月8日に同じアングルで撮影したものです。手前より酒店・肥料店はおなじ場所にありますが、洋品店・旅館・食堂・常陽銀行幸島支店(諸川上町の旧幸島村役場跡地に移転)はありません。俗に「十年一昔」と

いいますが、さすがに47年も経つと時の移り変わりを実感します。皆さんも、もし古い写真をお持ちでしたら、いまの景観と比べてみては。歴史をより身近なものに感じることができると思います。

(三和資料館)



▲昭和38年ごろの諸川商店街



▲現在の諸川商店街

奥原晴湖画室「繡水草堂」は開館一周年を迎えます

古河出身で明治時代を代表する女流南画家・奥原晴湖の画室「繡水草堂」が、古河歴史博物館敷地内、鷹見泉石記念館の西隣に改修移築、平成22年2月25日より一般公開となってから一年を迎えます。

繡水草堂は、晴湖が南画家として成功をおさめた東京を去り、明治24年現在の埼玉県熊谷市に隠棲したときに造られました。晴湖の没後、昭和4年に晴湖の甥・池田多喜雄氏がその一部を古河に移築、平成20年に故奥原ミチ子氏の遺志により古河市に寄付いただき、熊谷時代の図面をもとに玄関から画室にいたる廊下を復元したものが現在の建物です。晴湖が自ら設計したといわれる繡水草堂は、「茅葺き軒並ぶ寒村にあって、瓦葺きの大構えの晴湖氏の家のみ際立って見える。先づ田舎の大臣の御屋敷と云う格である。」(樋口傳「東海晴湖を訪ふ」)また、「元来数寄者であつたので、家居も自分の趣味に合はせて建てては壊し、壊しては接ぎ足し、面皮普請などの風流なものに作られた。」(藤懸静也編『奥原晴湖画集』)と伝えられるとおり、晴湖が財と時間をそそぎ、丹誠込めて建てたものでした。文人らしい清雅安な趣の画室には、諸処に晴湖が趣向を凝らしている様子うかがえるのも特徴です。例えば、晴湖は落款印章に「静」の字を用いていましたが、瓦葺きの屋根には「湖」のイメージともとれる波模様に、この「静」の字があしらわれた鬼瓦がみられます。本館・歴史博物館は今月28日まで、また、鷹見泉石記念館は3月15日まで、それぞれ工事のため休館していますが、奥原晴湖画室は平常通り開館しています。まちを散策の折には、どうぞお立ち寄りください。



▲繡水草堂 玄関



▲鬼瓦

開館時間

午前9時から午後5時
(入館は4時30分まで)

【問】

古河歴史博物館 ☎22-5211

図書館おすすめの図書

◇一般書

・タイムスリップ紫式部

鯨 統一郎 著



女子高生・香葉子は授業中気を失い、なぜか平安時代にタイムスリップしてしまう。

紫式部の体に宿った文学少女は、時の最高権力者の末路を目撃することに。源氏物語に隠された謎と歴史的殺人事件に女子高生が対峙する！ 出版社…講談社
分類…Fク

◇児童書

・中学生までに読んでおきたい日本文学 2 いのちの話 松田 哲夫 編



森鷗外の「山椒大夫」、太宰治の「魚服記」など、中学生までに読んでおきたい、いのちの話を収録。小学5年生以上の漢字にルビをふり、見やすい図版入り脚注を付ける。松田哲夫による解説も掲載。
出版社…あすなろ書房
分類…918チ (つつみ公民館)

健康情報局

花粉症について

「早く春が来ないかな」こんな声が聞こえてきます。春の訪れは、自然と心をわくわくさせますね。しかし、中には、春の訪れを手放しで喜べない人もいることでしょう。それは『花粉症』があるからです。花粉症は「国民病」とも言われるほどまん延し、今は国民の4人に1人が花粉症だといわれています。

花粉症とは

花粉症は、植物の花粉(アレルゲン)によって引き起こされるアレルギー症状の一種です。私たちの体は、細菌や異物が体内に入ると、それを取り除こうとするため、抗体を作ります。花粉が体内に入った場合、IgE抗体(アレルギーに一番関係の深い抗体)という物質が作られます。この抗体が働くと、神経を刺激する化学物質が放出され、目や鼻などにアレルギー症状がでます。

症状

花粉症の症状は、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目やのどのかゆみが主な症状ですが、集中力の低下や、だるい、いらいらするなどの全身症状もみられます。風邪は1週間程度でこうし

た症状が治りますが、花粉症は原因となる花粉が飛んでいる間ずっと症状が続きます。

花粉の飛散時期

花粉が飛散する季節は地方により多少のずれはありますが、関東地方では、スギ花粉が2月～4月、ヒノキ花粉が5月～6月、カモガヤ花粉が6月～8月、ブタクサ・ヨモギ花粉が8月～9月です。

予防・症状改善のために

外出時にはマスクや眼鏡を着用しましょう。服はスベスベした素材で、花粉が付きにくいものがお勧めです。食事はバランスよく食べ免疫力を高めましょう。甘いもの、油の取り過ぎには注意が必要です。また、睡眠時間は十分にとり、疲れをためないように気をつけましょう。適度な運動なども取り入れて、ストレスをためないようにすることも大切です。

(健康推進課)



表紙写真

1月9日、中央運動公園総合体育館で古河市成人式典が開かれました。

会場では、色鮮やかな振り袖やスーツ姿の新成人たちが旧友との再会を喜び、大人としての新たな門出を祝い合いました。

(写真は式典の開催にあたり、企画、運営された、古河市成人式典実行委員の皆さん)

寄付

永井文雄さん(西町)より、古河歴史博物館に文机の寄付。

人口と世帯

(1月1日現在 住民基本台帳から)
総人口 144,828人 (-48)
男 72,660人 (-15)
女 72,168人 (-33)
世帯数 54,489世帯 (+15)
() 内は前月比



みんなで健康 カルシウムたっぷりおやつ **食育レシピ**
“簡単” キャロットカップケーキ



(1人分)
 エネルギー=264kcal
 たんぱく質=6.4g
 脂質=6.4g
 カルシウム=46mg
 食塩相当量=0.2g

材料(4人分)

ニンジン1/2本、牛乳50ml、スキムミルク大さじ2、プレーンヨーグルト50g、ホットケーキミックス150g、卵1個、サラダ油大さじ1、ゆであずき100g

作り方 ①ニンジンはすりおろしておく。②ボウルに牛乳とスキムミルクを混ぜ、ゆであずき以外の残りの材料を加えて生地を作る(ダマにならないように混ぜる)。③容器180ml程度のカップなどに生地を分け入れて、ゆであずきを加えてひと混ぜする。蒸気の立った蒸し器に入れ、強めの中火で13~15分蒸す。 (食生活改善推進協議会)



アイドル登場



「ナンバーワン」

久本悠斗くん

(2歳5カ月 松並)



はじめまして、こんにちは。毎日朝から夜まで元気いっぱい笑顔満点の悠斗くんです。最近はおしゃべりが上手になってきて少しずつお兄ちゃんらしくなってきました。ママがどこか「痛〜い」というと「大丈夫?」となでなでしてくれるわが子。小さいながらもとても頼もしく成長している姿を見るとパパとママはとっても幸せです。これから健康で明るく心の優しい子に育ててください。

(父：健司さん・母：真智子さん)

古河風土記

平成23年2月1日発行
 ●発行所／〒300-0291 茨城県古河市下大野254-8 古河市役所 300-0291
 ●編集／広報室 ●ホームページ／http://www.city.ibaraki.kogai.jp/
 20数年前、古老の話を聞くために、上大野に足繁く通っていました。道路が交差する辻の茂みに、竹に挟んだ札を見つけ、なんとはなしに写真を撮っておいたのですが、なんとなく「厄年の女」と書かれていたような気がしたので、自宅を搜索。当時撮影した諸々のフィルムの中からその一枚を探し出しました。記憶がどこかへ飛んでいたため、すっかり勘違いしており、「厄年の女」なんて文字はなく、その御札には、「六三除」「当年五十五才」と手書きされていたのです。「厄年の女」とは、そのころ調査していた山梨県の宿場のはずれの厄落し旗のこと。上大野とはまったく違う記憶でした。

ところで、「六三除」とはなんでしょう。埼玉



▲辻に立つ六三除の御札(上大野)

の行為(まじない)をするのです。

さて、すぐに飛んでいってしまう、途切れがちなわたくしの記憶。はたしてこれに御利益のあるまじないはあるのでしょうか。えっ、それはこの間も教えたばかりだった。……忘れておった。

子規

古河歴史博物館学芸員 立石尚之

厄はいらない 災厄を除ける願い

梨県のあるところでは、六三のさわりに対して特定の神仏に原因をもとめ、これを慰めるために三叉路でおまつりしたといいます。道路の交差する場はなんらかの力が宿っていると考えられていたのです。

正岡子規のふるさと松山では、節分の晩、ふんどし・焙烙・火吹き竹などを道の辻に捨てる習俗があったと自身の随筆『墨汁一滴』に記述しています。

ふんどしは厄年の厄、焙烙は頭痛、火吹き竹はマリア対策のまじないだと。これをパワースポットとでもいうのでしょうか。わたしたちは、なにやら不思議な力があると思われるその場所に思いを寄せ、身におくるあらゆる災厄を払うために、なんらか